

議会報告会報告書

開催日時	平成29年11月1日(水) 午後7時00分 ~ 午後8時30分				
開催場所	大東北公民館				
参加人数 (議員・事務局除く)	28人				
出席議員	1 班	二村禮一	鷺山喜久	草賀章吉	松浦昌巳
		勝川志保子	富田まゆみ	榛村航一	
役割分担	班 長	二村禮一		司会進行	榛村航一
	報告	富田まゆみ		テーマ① (豪雨災害)	松浦昌巳
	テーマ② (公共施設)	勝川志保子		記 録	富田まゆみ
	受 付	鷺山喜久		受 付	草賀章吉
報告に関する 質疑	(質疑)		(答弁)		
テーマ① 豪雨災害	<p>Q 台風22号(10/29、日)で川が増水。付近の住民が怖いと言ってきた。公民館に避難。川の水位が何cmまで上昇したら危ないという基準があるのか。</p> <p>Q 自宅のすぐ横にある下小笠川が増水して、危険となっても上流、下流、両側には池もあり、どう対応したら良いかわからない。また線状降雨帯に覆われた場合、避難経路や避難場所はどうなっているのか？確保すべきである。自宅から南公会堂までは、途中低くなっているところがある。どこを通過して公会堂まで行けば良いか？安全な避難場所を設けて欲しい。その計画はあるか？</p>		<p>A 市内8カ所に水位センサーがあり、市民に対して報告はあるが、計測から報告まで15分のタイムラグがあります。一時的に大量に降った場合には15分後の報告では危険であるので、行政と相談し、良い方法を検討していきます(システムづくり)。水位の危険度周知について、担当課へ伝えます。</p> <p>A 避難する場所や避難方法は場所により異なるため、担当課へ伝えます。 議員は皆さんの生の声・情報をいただき、それを行政に伝えることが大きな役割のひとつです。</p>		

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
	<p>Q 住民が河川のこと困って市へ相談しても、川によって市、県、国と管理が分かれることが有り、管轄が違うので受けられないと回答されることがある。 市民のために管轄を超えて働いて欲しい。</p> <p>A 参加者 8割：確認できた ← 2割：確認できず (聞こえない等)</p> <p>Q 災害時に市から避難所を開設するように要請があるが“〇〇どこどこ”という個別の地区の開設要請ではない。 地元は川の水・土砂災害も含めわかっているので独自に対応していて市との連携がとれていない。 地区ごとへの情報発信しているか？</p>	<p>A 県議会議員なども含めた河川改修のための団体をつくるよう働きかけていきたいと思ひます。</p> <p>Q 台風21、22号において市からの防災情報を同報無線や防災ラジオで確認できましたか？</p> <p>確認できない場合は、危機管理課で防災ラジオ等の交換をお願いします。 また、平時より動作確認をするようにしてください。</p> <p>A 市として、地区ごとへの細かな情報は発信していないので、行政と連携して細かな地区ごとへの情報発信を検討していきたいと思ひます。</p>

議会報告会報告書

開催日時	平成29年11月1日(水) 午後7時00分 ~ 午後9時05分				
開催場所	大東支所 3階市民交流センター				
参加人数 (議員・事務局除く)	74人				
出席議員	2班	窪野愛子	山本行男	大石 勇	小沼秀明
		寺田幸弘	藤澤恭子		
役割分担	班 長	窪野愛子	司会進行	小沼秀明	
	報告	大石 勇	テーマ① (豪雨災害)	藤澤恭子	
	テーマ② (公共施設)	寺田幸弘	記 録	山本行男	
	受 付	山本行男	受 付		
報告に関する 質疑	(質疑)		(答弁)		
	<p>Q 千浜小学校校庭の下に1級河川の菊川の支線である高松川が通っている。年一度、地域の奉仕作業をしているが葦や他の草など刈っている。小学校下流の千浜西地域ではなぜか河川内の作業を業者に任せて作業が遅れている。</p> <p>現地を見てくれると分かりますが河川内に大きな草などが生い茂り遅れているので何とかありませんか?</p> <p>Q 昨年8月に大雨が降り小笠老人ホームの北側の所が大きく崩れ、その後復旧工事をしたが同じ個所が3回も崩れた。あまりにもお粗末な工事ではないか。</p>		<p>A 現地を確認するとともに、担当課に伝えます。</p> <p>A 当局からもこの件の説明を受けています。また、担当課に今のご意見を伝えます。</p>		
テーマ① 豪雨災害に備えて					

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
	<p>Q 過日の新聞報道で市の行革審の会長が突然辞任されたがどのように思うか。また、議会では継続して来年度も特別委員会として進める時に市民の声をどのように聞いていくのか。</p> <p>Q 古い施設がまだ有ると聞くがその中でアスベストに関連する施設は有るのか。</p> <p>Q 千浜東部の津波高が一番と聞く、現在防潮堤を整備している事は喜んでいるが津波時を防ぐに大事なのは海岸の砂浜だと思う。近年この砂丘がどんどん減っていて地域では砂を入れている現状だ。今、進めている防潮堤工事には防潮堤と砂防が別々に考えられている。これは一緒にして考えるべきと思うので市への対応をお願いしたい。</p> <p>Q 政務活動費が月1人2万5千円、議員全員で年630万になる、何を根拠に2万5千円にしているのか。活動費が余り戻すようなら1人の金額を少なくしたらどうか。</p>	<p>A 市と会長との間でマネジメント等の進め方の違いがあつて辞任したと思う。議会としては、出来たら来年度もこの特別委員会を設置し事業調査をしていきたいと思っています。また、先進地の湖西市を視察し、参考にしていきます。</p> <p>A 市としては、市内の施設を調査しており、知りうる限りでは無いと思います。 板沢の元福祉センターがこの問題を含んだ施設です。予算処置もしてあり近く解体する予定です。</p> <p>A 先日の大雨の時に地元議員も区長さんと現地を視察しました。千浜東区の昨年設置した堆砂垣がこの雨で壊れました。このままでは今の姿が維持出来ないで、防潮堤と共に砂防も含め対応するよう、担当課に伝えます。</p> <p>A 1人当たりの活動費は以前には年額36万円でしたが、4年前位に今の金額にしました。根拠は近隣市に見習ったと思います。 議員も政務活動費を使い調査研究しています。以前、オンブズマンから指摘がありました。その時を教訓として裁判判例に則り取扱指針を定め、実施しています。</p>

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
	<p>Q 空き家の問題が他の市町でも問題になっている。議会としてどのように考えているか?</p>	<p>A 議会としても、当然議論しています。先進地事例などを参考に行政に空き家対策を述べています。</p> <p>日坂地区では、数世帯の方がリフォームされ移り住むようです。農業民泊を始める方もいるようです。</p> <p>議会としても、地区まちづくり協議会の皆様と空き家活用の議論を深めていきたいと思えます。</p> <p>第2次総合計画の中に空き家対策の問題があります。民間の不動産や設計士の人たちと協働で対策に乗り出しています。議会として、これに注視し応援をしていきたいと考えています。</p>

議会報告会報告書

開催日時	平成29年11月2日(木) 午後7時00分 ~ 午後8時30分				
開催場所	原谷生涯学習センター				
参加人数 (議員・事務局除く)	37人				
出席議員	1班	二村禮一	鷺山喜久	草賀章吉	榛村航一
		松浦昌巳	勝川志保子	富田まゆみ	
役割分担	班長	二村禮一		司会進行	榛村航一
	報告	富田まゆみ		テーマ① (豪雨災害)	松浦昌巳
	テーマ② (公共施設)	勝川志保子		記録	富田まゆみ
	受付	鷺山喜久		受付	草賀章吉
報告に関する 質疑	(質疑)		(答弁)		
テーマ① 迫り来る豪雨災害に備えて	<p>Q 防災ガイドブックP37によると、公民館の東側は土砂崩れ、西の田んぼは浸水すると記入されている。</p> <p>長福寺から南側の守谷木材までと、読売カントリーから田んぼをはさんで原谷川までは、集中して降ると心配です。小学校から富部川までの土地は低く、台風21号ではそれ程影響はなかったが、22号の3~4時の大雨で富部川はかなり増水した。九州豪雨のような降水量だったら、どうなったかわからない。</p> <p>徳泉、曾我は浸水しやすく、川が集まっているので、致命傷になる。</p>		<p>Q ガイドブックに記入している人?→5人 防災関連のQRコード取得している人?→13人 家具の固定している人?→11人 台風21号の午前2時発令の避難勧告を確認できた人?→9人</p> <p>A 情報発信の仕方、情報受信の仕方など様々な点について、行政と検討していきたいと思います。</p> <p>また、市議会が行政と連携して、QRコードや家具の固定など、市民の防災に対する意識改革も進めていきたいと思います。</p>		

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
	<p>原谷～富部は被害が出るだろう。避難や普段からの備えを個人がやるのは、当然であるが、行政として原川にポンプを使って流してもらえたら良いと思う。</p> <p>これまでの防災努力を2倍3倍に、スピード感をもって取り組み、安心感のもてるサポートをしてもらいたい。</p> <p>Q 集中豪雨により、細谷は水に浸かる。西山区の原谷～西之谷までのところは、毎回孤立するくらいの状態となる。原谷小に渡る道路は水に浸かるので、修繕をしてほしいが、大がかりな工事が必要となり、工事費もかかると思うが検討してほしい。</p> <p>Q 土砂災害や土石流の心配なところもある。台風21号では、午後8時に避難準備情報が出され、自主防は全ての場所を避難場所として提供したが、皆いったん帰宅した。その後、午前2時に避難勧告が出された。あの時間に情報が出されても、高齢者は避難できるのか。二次災害の危険が伴う。的確な情報提供をしてほしい。</p> <p>Q 健康日本一に向けた提言のところで、握力計・血圧計を設置しているので、まち協でも使ってほしいと言っているが、各地区に設置する考えはあるか。</p>	<p>A 県議会議員・行政と一緒に期成同盟会として、静岡県に伝えていきます。</p> <p>A 午前2時の時点で避難するのは無理だったと感じています。議会と担当課で避難情報の出し方等を検討していきたいと思います。</p> <p>A まち協で使ってほしい、貸し出しをしていると言っても、現在の設置場所から自分の地区までの貸し借りを考えると、面倒でなかなかできないと思うので、担当課に各地区に設置可能か、相談します。現時点では、すぐに購入するとは言えないので、まち協の予算付けの中で購入するなど提案していきたいと思います。</p>

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
	<p>Q 子どもや孫の世代にツケを残さないことは大切であり、財政面で大東・大須賀の統合はわかる。子どもは地域で育てることが大切。原田小は人数が少なく、原谷学園として小学校を統合するのか。</p> <p>Q 言葉が独り歩きしている感がある。行政には、地域にもわかりやすい説明をしてほしい。議会としての進め方を地域にも説明しながら取り組んでほしい。</p> <p>Q 原谷学園だよりも書いたが、コーディネーターと一緒に沼津市の小中一貫を視察に行った。沼津では、子どもの少子化が進み、複式学級がきっかけで、小中一貫を10年かけて実施した。原田小も6年後には全校生徒が50人を切り、複式学級にならざるを得なくなる。その状況を知った市外に住んでいる地元の親子は、帰って来られないと言っている。</p>	<p>A スケジュールにあるように、今年すぐに統合に動くわけではありません。教育委員会の進め方も考慮して、議会・行政それぞれが考えて進めていきます。</p> <p>小中一貫を原谷・城東の二つで進めるわけではなく、モデル地区として検証しています。</p> <p>小中学校の建物の老朽化・人数的な面を考慮して、子どもたちがより良い教育を受けるためには何が最善かが前提で、統合ありきではありません。3年間の検証期間があるので、今後も意見をください。</p> <p>A 議会として、公共施設マネジメント特別委員会を立ち上げ、原谷中学校も視察しました。老朽化した建物をどう直すか、小中一貫が良いのか、他のやり方が良いのか、小学校二つと中学校を統合するのがすべてではありません。また、予算の削減がすべてではありません。</p> <p>A 一般的に小学校の生徒数は、一校当たり100人、1～6年までの各クラス15～16人が少人数の限界であると言われていています。データ的には、一学年2クラスが理想です。一クラス10人だと、男女比のバランスが取れず、極端に偏ることがあり、例えば、男女比が8：2など。6年間この偏った状態で過ごすことは良いことではないので、男女比が同じ状態が理想です。二地区での3年間のモデル期間に皆さんからの声も聞きながら、進めていきたいと思っております。</p>

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
	<p>Q 掛川市内全体では、人口が微増と言われているが、北部には森掛川ICがあるものの、周辺の開発は進まず、宅地を進める形になっていない。人が増えるような対策を取ってほしい。</p>	<p>A 開発が進まないとは、農地を宅地化してほしいということでしょうか？</p> <p>青地はなかなか宅地にはならないのが現状です。農地や耕作放棄地の青地を開発できるようにしてほしい、という意見を行政に伝えていきます。ICの利便性を利用した人口増対策など、掛川市総合計画に則って、次の10年間、人口増に向け力を入れたいと思います。</p>

議会報告会報告書

開催日時	平成29年11月6日(月) 午後7時05分 ~ 午後8時40分				
開催場所	南郷地域生涯学習センター				
参加人数 (議員・事務局除く)	96人				
出席議員	1 班	二村禮一	鷲山喜久	草賀章吉	榛村航一
		松浦昌巳	勝川志保子	富田まゆみ	
役割分担	班 長	二村禮一		司会進行	榛村航一
	報告	富田まゆみ		テーマ① (豪雨災害)	松浦昌巳
	テーマ② (公共施設)	勝川志保子		記 録	富田まゆみ
	受 付	鷲山喜久		受 付	草賀章吉
報告に関する 質疑	(質疑)		(答弁)		
テーマ1 迫り来る豪雨災 害について	<p>Q 防災に関して、森林整備促進以外に土砂災害警戒区域などがあるが、危険地域が土地開発されていて、市はそれに対して何もしないのか。(紅葉台)</p> <p>Q 防災ガイドブックP16に、初動が大切であると書かれている。また、情報をキャッチしていかに初動につなげるか、との説明だが、地元として具体的に何をすればいいのか。</p>		<p>Q 防災ガイドブック記入済みの方?→10人 ガイドブックのQRコード取得済みの方?→20人</p> <p>A 担当課にご指摘の内容を伝えます。</p> <p>A 自分の身は自分で守ることを第一として、情報収集して行動してほしいと思います。同報無線や防災無線、防災ラジオ等を確認してください。議会としては、情報発信のあり方を検討していきます。携帯やテレビ・ラジオ等に情報が出されているが、行政で一本化して情報が出せるようにできればと考えています。行政は正しい情報を早く出せるように、市民はその情報を早くキャッチして早く動くことが大切です。</p>		

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
<p>テーマ2 公共施設マネジメントについて</p>	<p>Q 市内には多くのため池があるが、その管理体制が不十分である。きちんと管理・調査し、その報告をしてほしい。</p> <p>Q 公共施設の老朽化で運営が賄いきれない、行政が監督すると赤字で、民間が経営すれば黒字となる。行政が運営すれば固定資産税はかかってこないのが、黒字になるのが当たり前のはずである。償却や経費をチェックする必要がある。</p> <p>掛川の活性化のためには、入ってくるもの（財政収入）をいかに多くするか、支出をいかにカットしていくかである。</p> <p>Q 秋田県では、秋田県産のお酒による乾杯条例でまちが活性化している。掛川でもお茶による乾杯条例のようなものができるか。</p>	<p>A 7月の北九州豪雨で、朝倉市のため池に土砂が流れて被害が出ました。そうしたことを踏まえて、行政ではため池について調査しています。その調査結果をまとめて、ガイドブック等に情報を反映させていきたいと思います。</p> <p>A 行政が運営すると赤字が出るのは、使用料を上げられないのがひとつの原因であり、ネックとなっています。また、民間委託すると競争力がはたらかず黒字となっています。ただ、すべての施設を民間委託するわけにはいかないが、民間委託できるところはしていきたいと考えています。市には、償却会計がないので、これを今後は検討していきたい。</p> <p>A 栃木県那須塩原市は牛乳の生産が本州一で、牛乳による乾杯条例があります。掛川でもお茶について乾杯条例を制定するなど、おもてなしができる体制をつくりたいと思います。</p>

<p>Q ため池について検討するということだが、ため池は外から見ただけでは、危険箇所がわからない。池の保水量や深さがあるかなど、調査をしてほしい。(昔は池の底ざらい等をしたが今はしなくなった) 水抜きなどをしていないので、堆積物がどれくらいあるかなど、調査してほしい。</p>	<p>A 掛川市は、県下でもトップクラスのため池の数がある。昔は水がない所ということで、水の確保を優先しなければならないという歴史的な流れが掛川にはある。ため池は水を抜けばいい、というものでもない。水を抜けばヒビがはいってしまい、維持することができなくなってしまう。時代が流れ、大井川用水の利用により、ため池の存在意義が昔とは変わってきたかもしれないが、市内にある200以上のため池の存在を文化として残すことも大事である。予算の面からいうと、年1~2カ所の補強のみとなっているのが現状だが、防災上は水を今のようにおいた上で維持管理したい。そこに堆積している土やヘドロの状態がどれくらいか、ひとつひとつの池を担当課とチェックし、池の下部に住む人が安心して暮らせるように対応していきたいと思います。</p>
<p>Q お茶を飲む条例の制定は、とても良いことである。ごみ減量にマイバッグを利用する運動は、大きな効果を生んだ。同様に、自分で飲むお茶は自分で用意する[マイボトル運動]を進めてほしい。</p>	<p>A マイボトル運動は、進めていきたいと思います。</p>
<p>Q 9月議会で初めて議会傍聴をして(2日間)、市の情勢がわかった。一般質問は議員個人がやっているのか、議員同士で質問内容などを相談しているのか。</p>	<p>A 一般質問は、議員個人が資料を収集し、勉強して質問事項を考えて、市長や教育長に対して質問するものです。代表質問は、会派ごとに話し合っって質問するものです。</p>

議会報告会報告書

開催日時	平成29年11月13日(月) 午後 7時00分 ~ 午後 8時50分				
開催場所	桜木ホール				
参加人数 (議員・事務局除く)	47人				
出席議員	2 班	窪野愛子	山本行男	大石勇	小沼秀朗
		寺田幸弘	藤澤恭子	榛葉正樹	
役割分担	班 長	窪野愛子	司会進行	小沼秀朗	
	報告	大石勇	テーマ① (豪雨災害)	藤澤恭子	
	テーマ② (公共施設)	寺田幸弘	記 録	榛葉正樹	
	受 付	山本行男	受 付	榛葉正樹	
報告に関する 質疑	(質疑)		(答弁)		
	<p>Q 地区集会とは違うと聞いているがあえて地区要望をさせてもらう。</p> <p>道路整備と交通安全対策について質問します。一つ目は、桜木中横断線が細谷で止まっているが、進捗と今後の展開を伺う。</p> <p>二つ目は、富部の踏切安全対策と吉岡区の交通安全対策が進んでいません。重大事故の発生を強く心配している。地区集会でも要望しているが、県の予算もこの二十年で半分になっていて中々厳しい状況である。今後は土木事務所や県の事業も再検討するなど残念な回答だった。そこで、今後は、桜木中横断線を交通安全の観点などから広域的に考えていただきたく早期完成に向けて議会のご理解をいただきたい。</p>		<p>A 交通量の多いことは理解しています。議会としても現場は確認していますが、今日のところは議会に持ち帰って協議したいと思います。今後は、県との絡みもあり難しいところもありますが、一緒に優先順位をしっかりと考えたいと思います。</p>		

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
	<p>Q 行政評価システムの導入、そして引き続きの検討とあるが、いつ設置されるのか？どういう観点、視点で運用するのか？なぜこんなことを聞くかという、以前、監査委員会に市の税金の使い方について質問した時に、事務局が検討しますという答弁があった。後で担当の係に事情を聴くとこれについては違法性はありません、特に問題ありませんという回答であり国会答弁と変わりがない、私は市民感覚で聞いているはずだがそれ以上は調べてくれない。今後どのような視点観点でやるのか、そしていつまでにこれができるのか確認したい。</p> <p>Q 当局と歩調を合わせて進めていくと言ったが、伝えたいことは緊張感をもってやっていただきたいということ。</p> <p>Q 水害について質問したい。以前、曾我地区で洪水警報が出たが市としてはどのような対応をしているのか、この質問の背景は、排水路がいっぱいになって住宅に侵入しそうになった時に住民から苦情があった。縦横1メートルの排水路を翌日確認したら下流に泥がいっぱいになっていた。下流が受け入れてくれないと水がはけないと思う。様々な川を接続しているが下流域の改善について聞きたい。あと、川の満水状況など住民はわからないので、市は、危険箇所の把握など対策はしっかりやっているのか聞きたい。</p>	<p>A 現在、特別委員会で検討しています。内容については、コスト削減、短期間での目標達成を掲げています。まだ特別委員会でも検討が始まったばかりであります。評価システムについては行政と打ち合わせもしています。今後とも検討していきます。</p> <p>市の会計システムの変更が3年後くらいに予定しているので、その時に市議会が検討しているもっと見える化の中の行政評価を加味しながらやってほしいということ。を特別委員会でも当局を交えて検討しています。</p> <p>見える化は時代が求めていることですので、3年から5年の間にはやっていきたいと思えます。</p> <p>それまでは、従来どおり各常任委員長を中心にしっかりと行政評価をしていきます。</p> <p>A 川に近い方は心配していると思う。これからは災害についてリアルタイムに情報を出していけるよう検討していきたいと思えます。期成同盟会など毎年点検して、市、県と対応しています。今年は豪雨が多く、県もたくさん補正予算で対応しています。</p> <p>市民が各自スマホ等を利用して情報をつかみ判断、行動できるように進めていきたいと思えます。側溝に関しては、以前、利根川が氾濫したときに大きな被害がありました。今後は、様々な被害も教訓にして対応したいと思えます。</p>

特に最下流部の曾我地区は一番水が集まり、決壊した時の被害は想定しています。

市議会としても静岡県に対応をお願いしているところです。

氾濫によって浸水の恐れがある二瀬川の皆様、城北地区の皆様からも多くの意見をいただいています。

水位に関しては、担当課で現状のものよりさらに高性能でリアルタイムに情報が得られる観測システムがあるということなので対応していきたいと思います。今回の議会報告会テーマとして防災対策を取り上げたということは、今後の議員間討議、市長への提言に繋げていくことができますので議会でしっかり協議していきます。

議会報告会報告書

開催日時	平成29年11月17日(金) 午後7時00分 ~ 午後8時55分			
開催場所	初馬会館			
参加人数 (議員・事務局除く)	73人			
出席議員	3 班	山本裕三	鈴木正治	野口安男
		鈴木久裕	藤原正光	嶺岡慎悟
役割分担	班 長	山本裕三	司会進行	野口安男
	報告	松本均 鈴木久裕	テーマ① (豪雨災害)	藤原正光
	テーマ② (公共施設)	嶺岡慎悟	記 録	嶺岡慎悟
	受 付	鈴木正治	受 付	鈴木久裕
報告に関する質疑	(質疑)		(答弁)	
迫り来る豪雨災害に備えて	Q 先日の豪雨(10月22日)の際に避難所を開設したが、大雨がどのような被害を受けるか想像できなかった。どのくらいの雨で、どのような被害が起こるかというような「見える化」を行ってほしい。	A リアルタイムでどういう状況であるかということ共有できるシステムを今後皆様の意見を聞きながら市に提言していきたいと考えています。		
	Q 倉真川にも水量計を設置してほしい。	A 西郷地区の上屋敷に設置してありますが、県の管理であるため、今後市とさらに連携するよう進めていきたいと考えています。		
	Q ため池の説明がなかったが、静岡県で645池ありそのうち掛川市で228池と35%も占める。ため池のすぐ下に広域避難所がある地域がある。もっと市当局と議論していただきたい。	A ご意見を参考に市と議論を深めていきたいと思えます。		

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
公共施設マネジメントについて	<p>Q 大東温泉シートピアやしーすぽ等で、ネーミングライツを取り入れて維持管理費に充当していけばと思うがどうか。</p> <p>Q 学園化構想で小中一貫校を進めていくということだが、議会の立場としてどのように考えているか</p> <p>Q なんでもかんでも指定管理をと市は進めている部分があるが、お金だけでは計れないものがある。市民の気持ちを聞いて公共施設マネジメントを進めてほしい。</p>	<p>A いこいの広場の野球場で検討を行ったが、外側に企業名を出してということが出来ず、収益面で見合った効果が得られないという想定でありなかなか難しいと考えています。しかし、貴重なご意見として今後、提言していくことができればと思います。</p> <p>A 公共施設マネジメント推進特別委員会では、教育委員会が小中一貫校の考え方を今後調査研究し、方向性が定まってから、学校施設を考えていこうと思っています。</p> <p>A いままでの指定管理の導入時も反対意見があり、大変な議論がありました。市民の皆様のご代表として多くの市民の方々の意見を聞いて進めていきます。</p>
その他	<p>Q 朝の放送で市歌だけでなく、毎日ラジオ体操を流したらどうか。</p> <p>Q 掛川市には 110 程度団地があるとのことだが、団地の問題も取り上げてほしい。</p> <p>Q 元気なお年寄りがボランティアをしてポイントを得て、それを自分の介護で使うというような自治体もある。参考に是非効果的な取組をしてほしい。</p>	<p>A なかなか難しいとも考えますが、参考にしていきたいと思っています。掛川市では大人のラジオ体操ということも進めているので活用していくことができればと思っています。</p> <p>A 今後検討していきたいと思っています。</p> <p>A 参考にし、取り組んでいきたいと思っています。</p>

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
	<p>Q もっと若い人が議会の傍聴に行けるように、休日議会も検討していけばどうか。</p> <p>Q 一般質問の日程の情報が遅いので参加の都合がつかないことがある。もっと早く公表してほしい。</p>	<p>A 試行的に行っている自治体もありますが、あまり効果が上がっていないところもあると聞いています。他自治体も参考にし、今後検討をしていきたいと思ひます。</p> <p>A 一般質問の内容が確定するのが、本会議が開会した次の日となっています。それを変更していくのも今後の検討事項としていきたいと思ひます。</p>

議会報告会報告書

開催日時	平成29年11月20日(月) 午後7時00分 ~ 午後8時45分				
開催場所	掛川市役所4F				
参加人数 (議員・事務局除く)	73人				
出席議員	2班	窪野愛子	山本行男	榛葉正樹	大石勇
		小沼秀朗	寺田幸弘	藤澤恭子	
役割分担	班長	窪野愛子		司会進行	小沼秀朗
	報告	大石勇		テーマ① (豪雨災害)	藤澤恭子
	テーマ② (公共施設)	寺田幸弘		記録	榛葉正樹
	受付	山本行男		受付	榛葉正樹
報告に関する 質疑	(質疑)		(答弁)		
防災について	<p>Q 逆川改修工事促進同盟会に、垂木川改修の役員構成を教えてください。あと、なぜ曾我地区の人が役員に入っていないのか教えてください。</p> <p>Q 市内河川状況確認ということで7か所ほど出ているが、この中になぜ倉真川が入っていないのか？毎年、大雨、台風で床上浸水している。水害対策についてはいつも地区要望しているがいっこうに進まない。この件について市議会としても要望してほしい。被害写真をいつもあげているだけで地元の人みんな熟知している。地区の人は来るべき災害を示して対応策をアピールしてほしい。</p>		<p>A 垂木川に関しては存じ上げないが、地元の川に関係している人が役員に入っていないということです。ですので、当局と相談して報告いたします。</p> <p>A なぜ倉真川に期成同盟会が無いのか、当局に確認して報告いたします。</p>		

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
	<p>Q 仕事の関係で新潟県中越地震、阪神淡路大震災に救援に行ったことがある。この時に一番感じたのは人命に関わるとっさの判断ができる人がいないということ。特に災害現場では避難経路の見極めが必要である。このような判断ができる人材を市議会でも育成やバックアップして欲しい。</p> <p>現在、工業団地を造成しているが、今までの調整池で間に合うのか検証してほしい。</p>	<p>A 現在、防災リーダー養成講座を行っていて昨日も44名が2日間研修をしていました。このような方が地域の防災リーダーになることは重要だと思っています。リーダーになるには学び経験が必要なので今後も地域で活躍できる人材を育てていくように要請をしていきます。</p> <p>調整池も大切な話であり、最近の雨量はかなり多いので今後も検証していきます。</p>

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
<p>公共マネジメントについて</p>	<p>Q さんりーなの横に古い体育館があり建て替えの時期ではないかと思う。市の管轄ではないかもしれないが民間の施設も併せて統廃合や建て替えをすればそれなりの成果が出ると思う。民間の施設も併せて建て替えの検討してみてもどうか。</p> <p>Q 良い話ばかりで掛川球場の話が全く出てこない、どうお考えか。2、3年前にも話が出たがその後、話が出ないし、今後の方向性が見えない。今年はプロ野球が来なかったけど施設が古いから来ないのかと勘繰ってしまうがその辺も含めてどうお考えでしょうか。</p>	<p>A 隣の体育館は存じ上げておりますし、大会等でサブ練習場として使用していることも把握しております。貴重なご意見ありがとうございます。ありがとうございました。</p> <p>A 野球施設に関しては市長からも市民の要望があると伺っています。その中で現在も検討中であり。この場ではこれ以上のお答えができないのは残念ですが、ご理解いただきたいと思っております。</p> <p>議員からも一般質問で「いこいの広場」の活用に関しては質問が出ています。その時の教育長答弁では、優先順位が高いものから対応していくと言う答弁でした。市民のみなさまも募金活動をしてきておりますが議会としても募金活動の強化など、この議会報告会後の討論会で協議させていただきます。</p>
<p>その他自由質疑 意見交換</p>	<p>Q 少子化が社会問題になっているので公共施設の集約型や汎用性が高い施設を作るような基本的理念を議会で作っていただければ結果的に経費削減につながると思う。</p>	<p>A 公共施設マネジメント推進特別委員会でも先日視察で湖西市に伺い、施設の評価評価や今後の計画の立て方を勉強してきました。これから当局に提案する予定です。今いただいたご意見も特別委員会の中で提案させていただきます。</p>

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
	<p>Q 茶エンナーレ成功の新聞記事があった。市民からいろいろな意見を聞いている。それなりの費用がかかっていると思うので費用対効果をしっかり検証していただき報告いただきたい。</p>	<p>A まだ終わったばかりなので、これから市議会としてもしっかり検証します。様々な意見がありますが良い意見も多く聞いています。次の定例会では、一般質問でも取り上げている議員もいますので議会にも足を運んでいただきたいと思います。トリエンナーレは3年に一度なので市民にとっても素晴らしいイベントになるように、議会としてもしっかりチェックしていきます。</p> <p>今度、総務委員会でも茶エンナーレについて検証を行いますので、その結果をまたご報告させていただきます。</p>

議会報告会報告書

開催日時	平成29年11月24日(金) 午後 7時 00分 ~ 午後 9時 00分			
開催場所	栄川中学校			
参加人数 (議員・事務局除く)	43人			
出席議員	3班	山本裕三	鈴木正治	野口安男
		鈴木久裕	藤原正光	嶺岡慎悟
役割分担	班長	山本裕三	司会進行	野口安男
	報告	松本・鈴木	テーマ① (豪雨災害)	藤原正光
	テーマ② (公共施設)	嶺岡慎悟	記録	藤原正光
	受付	鈴木正治	受付	
報告に関する 質疑	(質疑)		(答弁)	
	<p>迫りくる豪雨災害に備えて</p> <p>Q ソフトとハードがある。ハードは金がかかる。システムの構築がわからない。介護を含む弱者をどう守るかが重要。個人情報扱いについて議会含めてどんな感じになるのか。</p> <p>Q 菊川改修期成同盟会は本当に活動しているのか。</p>		<p>A 地元の方の協力必要不可欠。持ち帰って意見をまとめていきます。</p> <p>地元の力が必要で、支援方法を各地区で考えていただくことも必要だと思っています。</p> <p>A 掛川・菊川で同盟をつくり陳情しています。菊川は、国の管理河川であるが、県に任せたい考え。予算を考えると国がやらしてもらえないと、いろんな問題を解決できないので、国でやってもらいたいと考えています。</p> <p>大雨が降った時は危険性が高いため、危険箇所については少しずつ改修が進んでいる状況です。</p> <p>要援護者の問題は、まち協、区長会、民生委員と協議をし、進みつつあります。地区によって温度差はありますが、議会としても検討していきたいと思えます。</p>	

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
公共施設マネジメントについて	<p>Q どの課が担当か。</p>	<p>A 維持管理課です。要望はできませんが、河川改修は国が進めます。</p>
	<p>Q 豪雨災害に関して、広域避難所が栄川体育館。選挙と重なり、支部員5、6人いるが女性2名が対応。地震・土砂崩れの避難には有効だが、大雨の避難所としていいのか。57年の大雨にはグランドまで水が入っている。小学校は裏に山を背負っているため避難所難しい。大雨の広域避難所は有効なものがない。状況によって避難所とならない。その対応を検討してほしい。</p>	<p>A 広域避難所について、すべての災害に対応できていないということであるが、対応していくよう担当課に伝えます。</p>
	<p>Q 小中一貫推進計画の中で、教育の観点と学校再配置で案が出ている。公共施設マネジメントの話合いで、学校に関しては教育委員会に委ねるのか。</p> <p>Q 教育の観点はそれぞれある。施設について財政的見地、大変だと分かる。偏って統合していくに聞こえる内容だ。地域を維持する中核施設としての観点から議論すべき。</p>	<p>A 特別委員会では、教育委員会の小中一貫校の調査研究の状況を見て判断します。モデル校として城東地区、原野谷地区で調査研究が始まっています。3年間で調査研究を行ってその状況を見て考えていきます。子どもたちの教育にとってどういったものがあるか、これから議論を重ねていきます。その中には維持管理の公共マネジメントの考え方は入っていません。お金だけでなく教育・地域として学校施設は重要な位置づけですので、地域にも入っていただき検討していきます。</p> <p>原野谷で一貫教育について、市の指定で検討を行っています。小中の施設を一緒にしてしまう場合。施設は別で一貫でやる考え。一緒でも別々。最終では市が決定。教育については教育委員会。最終的には地区の意見を聞いての協議を行う予定です。それぞれの意見を聞いてやっていく方向になって</p>

<p>その他、意見交換</p>	<p>Q 推進計画の中でソフト・ハードありますけど、学校再配置の案が2,3あるのでその中で柔軟に選択できるようにしていただきたい。</p> <p>Q これから議論をしていくが、どれくらいの方が議論に入っていくのか。他市では高校生も含めてマネジメント、ワークショップとか開いて行われているが、これからの世代の意見も取り入れていただきたい。ここに来ないと知らない情報、幼稚園のお母さんの話題になってもいいもの、優しい公共マネジメントの話合いの出来る働きかけをしていただきたい。</p> <p>Q 小中一貫のパブコメ 175 の意見 65 人、議会の中でどのように活用されて、どのような話がされているのか知りたい。</p> <p>先日の6月定例会、小沼議員の質問で、適正化に対する市長の答弁で、高齢者は反対抵抗、子育ての世代は2クラスとか多いところを希望していると発言。</p> <p>まち協の中で、地域を創ろうとしている時に、若い世代を含めてみんなが助け合って生きていこう、暮らし</p>	<p>います。今、調査している段階。今度第1回目が開かれ、3年くらいありますので段々検討が進んでいきます。地域の要望も十分取り入れて進めるように言われています。</p> <p>A 小中一貫校の議論におきましては、幼稚園、乳幼児の保護者、保育園、小学校のPTAから意見を伺うことになっています。勿論地区の役員にも入っていただいて、学識経験者が何人か入り、大体30人の協議会で、様々な方に意見を伺っていきます。提案された高校生の意見も必要だと思います。</p> <p>A 様々な人から意見を伺う機会をと、平成25年から今年5回目で、どういったことを目的にどういう方に知っていただくような機会にと議会報告会の在り方含めて再検討の声もあります。おっしゃっていただいたご意見も踏まえながら、今後、形を変える中で、よりご意見の伺える報告会、市議会の在り方を検討してまいります。</p> <p>A パブコメにつきましては、出ているのは承知していますが、まだ委員会の方で、それについて協議はしていません。今後小中一貫教育3年かけて考えていきます。スタートしたところですので。これからまた皆様のご意見頂戴いたしまして考えていきます。頂いたご意見は委員会に反映させていただきます。</p>
-----------------	--	--

ていくにはどうしたらいいだろう
そういう観点から、ひとつの地域を
若い世代と切るようなことを捉え
ていいのか。まち協が考えている地
域がより住みやすい地域づくりの
学校の在り方を幅広い視点で地域
とやっていかないといけない思う。

Q 掛川バイパスの複線化の関係
について、昨年磐田と袋井バイパス
が複線化。現在東部のスマートバイ
パス工事、聞いたところだと、その
後藤枝、最後が掛川地区。東部から
朝、掛川地区へ入ってくる車が多
い。逆に夕方、東に向かう車、渋滞
多い。掛川バイパス複線化がどんな
風に議会で話されているか。

Q 健康日本一、基本条例の中で実
現させた。在宅医療叫ばれている。
在宅医療推進員という表現がある。
具体的にどのような方が推進員か。
どのような事を進められるの
か。

Q これから増やしていくのか。

A 掛川バイパスは非常に混雑し
ています。袋井バイパスが完成、
袋井の渋滞が掛川に溜まっている
状況です。島田バイパスも進行し
つつあり、大井川橋も架かる話が
あります。国の考えは、袋井バイ
パスは袋井バイパス。島田バイパ
スは島田バイパス。掛川バイパス
は掛川バイパス。独立して考えが
進んでいます。バイパス期成同盟
会を作って他の市も一緒になって
掛川バイパス整備の要望をしてい
きます。

要望していくにあたって、ただ混
雑するから整備してくれでは難し
いので、経済効果等を重点に話を
していかなければと思っております。

大池インター、アピタ増床計画、
中々進んでいないが、できると
益々混雑しますので、周辺市町に
協力願いながら進めていきます。

A どのような資格をもった方が
なるかは分かりませんが、希望の
丘に2名います。地域の開業医が
在宅医療を進めるうえでの手伝
い、間接的なサポートをするサポ
ートデスクのような役割を果たし
ております。直接的な在宅医療を
する方ではありません。

A これからどういう風な発展を
していくかは、確認が取れていま
せん。大事な仕事なので、引き続

	<p>Q 大東温泉シートピアの維持費が掛かる。収入はあるのか。</p> <p>Q 2,700万円払って、尚且つ入場料を貰っているってことか。大東じゃないので言いにくいですが、観光施設に無理にこんなお金、維持費掛かり過ぎている。他のものならいい。</p>	<p>き在宅推進の為に働いていただきたいと思っています。</p> <p>A 収入はあります。年間20万人来場。運営しているユアーズさんに毎年指定管理料をお支払いしています。指定管理料の中で、運営費もいただきつつ何とかやっている状況です。自主自立運営費だけで、運営が出来ているわけではありません。プラスαとして管理料を掛川市からお支払いして何とかまわっています。</p> <p>A 貰っています。おっしゃりたいことは分かります。民間の温泉は自立で運営している施設も多い。その観点から言うと少しそういうことはあります。そもそも大東町時代に、町民の健康福祉を願って作った施設という前段階があります。その流れを引き継いでいる状況です。ただ、今の運営状況に関しても、今後何らかの変更、可能性は考えていかなければならないと思っています。維持管理修繕費等も、今回報告したとおり、プアスアルファ修繕費も乗っかって来ます。ここに関して特別委員会の中で十分に議論して、このままの状況ではいけないだろうと言うことで、ここは委員会でも一致をしたところですが、じゃその方法としてどうしていくか？民間に譲渡していくのか？廃止してしまうのか？もっと大きく民間に開発してもらって、ちゃんと利益を上げてもらうのか？様々な選択枠があります。今その点に関しては、特別委員会の議員間討議を通して、十分に議論をさせていただいておりますが、中々答えは出ておりません。ただこれはし</p>
--	--	---

っかりと期間を決めて決断をしていかなければ、10年で10億円という額が掛かってくるものですから、しっかりと決断を出していかなければならないという時期が近付いている事は間違いないということだけ申し添えます。

Q 数年前に日坂小で40代の女性が倒れてAEDを使って救命の例がある。AEDの重要性を目の当たりにした。1年後、東山で70、80代の年配者が倒れた。AEDが東山にはない。あれば助かったかも。センターに設置してない。地区まちづくり協議会で話題になったが、設置にあたり維持管理、年間いくらか出さなければいけない。話を詰めていくであろう。命を買うにあたって、東山地区では少ない。1人あたりの払う金額が、他地区の人口の多いところと比べて負担が大きくなってしまふ。各小学校中学校には設置されているであろうと思う。人口の少ないところについては負担になる。その辺今後、先ほど健康寿命とかあったが、そちらに目を向けていただければと思うが。

A いちご会の福祉バス事務局をやっているの、皆さんにお知らせしておく。バスにはAED載せている。管理会社が持っており、リースで3,000円/月という契約である。

協和医療機器。一般には販売はできないと聞いている。セコムと契約している。3,000円/月5年契約。3年経つと勝手に送られて交換。パットも自動的に送られてくる。そんなにお金は掛からない。一度も使ってない。地区運動会の本部に持っていくこともやってい

A 命の大切さというところだと思います。地域に集まるところには必要。私も蘇生術とか勉強していますが、どんどん機種が新しくなっています。最新なものを使っていくことが必要です。今まで10年でバッテリーが寿命で、そろそろ買い替えが必要な地域もあります。そういった部分で近くなければいけないので、行政にも要望していきます。一番大切なのは、機械があっても使える方たちが、いなければいけないので、普及するような団体で地元の声、講習であったり研修であったり、機械と地域の皆様方が一緒に進んでいく体制を整える方向になればよいと思います。

る。訓練は1回/年決められている。
いちご会で消防署にお願いして訓練やっている。説明によると蓋を開ければ誰でもできるというが、実際には訓練を受けないと使用できない。講習も必ず1回/年行い、今年で4年目。
事務局長まで相談していただければ。

議会報告会報告書

開催日時	平成29年11月27日(月) 午後7時00分 ~ 午後8時55分				
開催場所	大須賀市民交流センター				
参加人数 (議員・事務局除く)	51人				
出席議員	3班	山本裕三	鈴木正治	野口安男	松本均
		鈴木久裕	藤原正光	嶺岡慎悟	
役割分担	班長	山本裕三		司会進行	野口安男
	報告	松本均・鈴木久裕		テーマ① (豪雨災害)	藤原正光
	テーマ② (公共施設)	嶺岡慎悟		記録	鈴木久裕
	受付	鈴木正治		受付	野口安男
報告に関する 質疑 公共施設マネジメント	(質疑)			(答弁)	
	Q 各施設の集約が不可欠とあり、小中学校の集約が取りざたされているが、正直に効率化という観点で推進してほしい。			A 教育施設は44%を占めています。小中一貫教育については、教育委員会が教育的観点から検討している。今後は市議会としても、公共施設マネジメントという観点も踏まえつつ取り組んでいきます。	
	Q 問題山積する中、今後は市議会議員は選挙区内の家庭訪問をお願いしたい。家庭へ赴けばいろいろな話が出ると思う。 湖西市議と交流があるが、家庭訪問しその結果を議会で発表し合い良くなったという。掛川も見習ったらどうか。			A 議会として広く市民の声を聞いていきます。家庭訪問については是非はあります。区長や組長はじめ地域の皆さんと話し、幅広く意見を聞く方向で進めたいと思います。	
	Q 横須賀高校の統合問題はどうか。廃校となれば横須賀は火が消えたようになる。			A 議会報告会開始後に出たことであり、議会報告会での議論の用意をしていません。今度の一般質問で地元議員が取り上げるので、聞きに来てくれたらと思います。	

意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
	<p>Q 中東遠総合医療センターの人間ドックは、胃カメラや直腸カメラがオプションとなっている。標準にならないか。</p> <p>Q 災害関連で 西大谷と東大谷の間にある養鶏場は大規模で、大雨時には一旦水が出る。水位のシミュレーションは調べられないか。議会も動いてほしい。</p> <p>Q 水道関連で、大須賀の豊富な水をどう活用していくのか。かつて議会から市への提言はどうなったか。今答えられなければ支所を通じて教えてほしい。</p> <p>Q 横須賀高校の統廃合に私は反対だ。廃止は人口減少を加速させる。考えてほしい。生徒が地域の福祉活動に参加するなど地域への貢献度が大きい。</p> <p>Q 都市計画税の用途は。他の事業等に使われているのではないか。</p>	<p>A ご意見があったことを担当課に伝えます。</p> <p>A 持ち帰らせていただきます。</p> <p>A 大井川広域水道企業団の責任水量制については、企業団への負担金が少し減る方向で、実を結んでいます。大須賀区域内の2つの水源は、廃止したのではなく、維持しています。</p> <p>A お気持ちはわかります。議会として議論を詰めていないので、今後議論を進めていきたいと思います。</p> <p>A 市民の皆さんにいただいているよりも多くの費用を投じています。一般財源等も充当しながら、都市計画事業を実施していますので、ご理解をいただきたいと思います。</p>